

歯科医科統合の 時代が到来した。

第2回 バイオレゾナンス医学会 全国大会

主催 バイオレゾナンス医学会

2011年7月10日（日）

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京 代々木）

演者 矢山利彦先生（Y.H.C.矢山クリニック） 杉本観先生（杉本歯科医院）
杉田穂高先生（杉田歯科医院） 森正道先生（森の診療所）
天外伺朗先生（ホロトロピックネットワーク代表）

（順不同）

病気の根本的リスクとして歯科金属からのガルバニック電流が交感神経を持続的に緊張させていること、歯科金属が溶けだしてアレルギーをおこすこと、歯周や抜髄歯の歯根周囲の感染巣により細菌が体内に流出して抵抗力の弱い部位に感染することが明らかになってきました。しかしこのことは、歯科治療においてもまだ一般化していませんし、臨床医にも広く知られておりません。

バイオレゾナンス医学会は、歯科医師と医師を中心に薬剤師、鍼灸師、柔道整復師なども加わった120名の会員から成る団体です。歯科と医科の統合、さらに様々な治療法を統合することにより疾患を根本から治していくことを目指しています。統合の基本的手法は生体の微弱なエネルギー的变化を、「ゼロサーチ」という全く新しい装置を使って、バイオレゾナンス（生体共鳴）法によって推定することにより行います。これにより、根尖病巣の有無や、最適の抗生剤を選択することが可能です。さらに咬合の最適化も行えます。医師は最も有効な抗アレルギー剤や降圧剤、抗パーキンソン薬の選択、ステロイドの必要量の決定などが可能になり臨床現場で驚異的な力を実感できます。第1回目の大会では多発性硬化症の治療例や多数の関節リウマチとの治療症例が報告されました。

第2回目の全国大会では、このような事例の呈示とバイオレゾナンス医学の基本原則が報告され、さらに天外伺朗先生により、新しい医療の展望が示される予定となっています。

お申込み受付は、4月より開始します。一般の方も参加できます。

詳細は3月末より医学会HPなどで告知予定です。詳細を希望される方は、
メールで件名に、「第2回全国大会 案内希望」と書いてお送りください。

バイオレゾナンス医学会 事務局

〒840-0201 佐賀県佐賀市大和町大字尼寺3049-1

電話・FAX 0952-62-8903

メール info@bio-resonanz.jp

<http://www.bio-resonanz.jp>